



Ferris University

2015 No.13

フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

主よ、あなたのいます家 あなたの栄光の宿るところをわたしは慕います。

詩篇 26 八節

Jubilee Yearに際して

理事長 奥田 義孝



が、そういう時代だったのです。

戦になると世の中は一変し、それまで皇国思想・国家神道の旗を振っていた先生たちは一転してマルキシズムに傾倒、労働者としての権利を主張し、賃上げを要求してストライキを打ちました。私の両親は「ストをするような先生に息子は預けられない」と主張。私は他の小学校に転校することになりました。今から思えば、戦後の極貧の時代、先生たちも思想以前に生活のために必死だったのかもしれません。しかし、この時代、右寄りであった人ほど左に急旋回したことは歴史の教訓として記憶にとどめておきたいと思います。

1965年に大学が開設されてから今年は50周年の記念の年(Jubilee Year)になります。懸案であった大学の将来に向かうのグランドデザインが2月の理事会に報告され、今年度からその具体化が始まりました。わが国にとって、今年は1945年8月の終戦(敗戦)から70年目の節目の年になります。大学同窓会の方々は戦後の新制教育になってからのご就学で、戦前はもとより、戦中の教育も「存じない」となります。

少し上の世代である私は、京都の国民学校(現在の公立小学校)2年生の8月に終戦を迎えるました。1年生のとき、学級担任の先生が授業「人は死んだら」と行きますが、「死んだら」と生徒に問い合わせました。クリスチヤンホームに育った私が「天国です」と答えると「違います」と否定され、次の子が「お仏壇です」と答えました。がこれも間違い、正解は「神棚」だったのです。親から教えていたことが先生によって否定されたことは、私のトラウマになりました。今は考えられないことです。

フェリス女学院に赴任して

学院長 鈴木 佳秀



質は変わらなかつたと言えます。でも新潟に32年間も動かず過ごしたことになります。多くの友人が与えられ楽しい時を持ったのですが、新潟にある大学に転職することになり、そこで全く違う業界の方々と友人になりました。そのほとんどの方が古里新発田を心から愛しているのに気付かされたのです。当たり前のことなのですが、小学校で同じクラスだったとか、同じ高校に通ったという思い出話を豪席で聞かれています。大学部会では、緑園キャンパスの図書館棟や体育館の新築工事資金の一部として、また、山手キャンパス8号館の耐震・改修工事の資金に活用させていただきました。今後は、

維持協力会へは、2014年度末までに5億7000万円のご寄付が寄せられております。大学部会では、緑園キャンパスの図書館棟や体育館の新築工事資金の一部として、また、山手キャンパス8号館の耐震・改修工事の資金に活用させていただきました。今後は、2020年の学院創立150周年に向けて、グランドデザインに基づく校舎整備計画を検討していく予定です。

学生たちの学習環境をより豊かに整えていくために、引き続き維持協力会を通じてのご支援をよろしくお願い申し上げます。

●ご寄付の方法

原則1口1万円としていますが、金額にかかわらずご厚志をお受けします。専用の振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。ネットバンキング・ATMによる寄付も受け付けております(※詳細は学院HPをご参照ください)。継続的にご寄付をくださる方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度もご利用可能です。ご希望の方は、担当までお問い合わせください。

維持協力会のご案内

「フェリス女学院維持協力会」は、1995年に設立された支援組織です。

設立以来、同窓会・卒業生の皆さまから多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

維持協力会へは、2014年度末までに5億7000万円のご寄付が寄せられております。大学部会では、緑園

熊本で生まれたのですが、生まれ故郷についての記憶がありません。転勤族の家に次男坊として生まれた私は、4、5年に一度の割合で転居を繰り返してきました。幼友達ができなかつたのはそのためです。親しくなつてもすぐにお別れという連続でした。それでも新しい場所に引っ越す度にくわくした気持ちを持っていたのを覚えています。現実は厳しいじめが待つているのですが、新しい土地での方言や食べ物、観光地がどんなところのかを楽しみにしていました。機械が大好きな理系志望の子供でしたが、次男坊であつたことと関係して、機械工学でなく人文への転換を余儀なくされ、よりによって旧約聖書学に進むという道を辿っていました。

新潟大学に就職した時、これで違う土地に引っ越すこともなくなると思いました。歴史学の教員として古代オリエント史や旧約聖書の世界・古代イスラエル史を担当していました。その後、教養部から人文学部に所属が変わったのですが、転勤族の体

キリスト教の信仰を「建学の精神」とし、聖書に由来する「For Others」を教育理念として掲げているフェリス女学院も、145年の歴史のなかで多くの試練を経験し克服してきました。将来に向けて、大學は特色あるフェリス独自の教養(リアル・アーツ教育)を目指そつとしています。

旧制一高の校長や文部大臣を歴任した安倍信成(1883~1966)という人が、「教養とは、同意する、しないに関わらず、相手の立場が理解できることである」という言葉を残しています。今日に生きる言葉で、歴史の教訓に学ぶとともに、深い洞察力を持ち、他者への配慮の出来る人材を世に送り出す学院であり続けたいと願っています。

学長挨拶



学長 秋岡 阳

フェリス女学院は5年後、2020年に創立150周年を迎えます。この節目の年を見据えて、学院全体の中長期的・総合的な将来構想である「ブランド・デザイン」が策定されました。現在その実現に向けて着々と改革・整備がすすめられています。大学も、2020年に向けた「大学グランド・デザイン」を策定。学院150年の伝統を、大学においても、さらに良い形で未来に継承してまいります。

フェリス女学院は、150年の歴史を通じて、つねに新しい時代を切り拓いてきました。この学院の先進性は、日本で最初にキリスト教女子教育を始めたことからも明らかです。そして先天の見えない、これから時代にあっても、本学は「新しい時代を切り拓く女性」を育成し続ける学校をめざします。

150周年を迎えるとする今も、建学の精神に変わりはありません。創設者キダーから託された「キリスト教の信仰に基づく女子教育」を、これか

らも変わることなく推進していくまです。また150年の歴史の中で醸成された教育理念「For Others」も、今後さらに具体的な活動として展開していきます。このように「建学の精神」や「教育理念」をさらに明確にすることは、少子化が一段と進むこれから時代、他大学との差別化をかるために大切です。

しかしそれだけだと「大学はこれまであまり変わらないのではないか」と言われそうですね。いいえ、大きく変わります。2017年度には、全学教養教育機構CLAを設置。全学部の学生を対象とした、4年間の体系的な学びとして、21世紀型教養教育プログラムが始まります。この新しい教育プログラムを開拓するため、専用校舎も整備します（緑園2号館を改修の予定）。

「学生は明るく、妹ができたような気持で、フェリスは私の青春でした。宮坂・猫坂の桜がとてもきれいでした。」

第二の質問は「フェリスが在職中で一番嬉しかったことについて」でした。

辻フエリス・ホールが出来た時！永田「緑園体育館が出来たこと！」宮柿落としたのが、バーボールの試合を、私も観戦いたしました。永田「緑園体育館の柿落としては、国際審判をお招きし、実業団の強豪『日立佐和会』と全日本ナンバーワンの『東海大学』とのバーボールの試合を行いました。」宮坂「ゼミ生との出会いですね。」

第三の質問は「今後のフェリスに望むこと」でした。

辻「伝統を守り続けて欲しい。年月の流れは重要でなく、充実した時間を過ごして成長することが大切。女子大という特性

も変わることなく推進していくまです。また150年の歴史の中で醸成された教育理念「For Others」も、今後さらに具体的な活動として展開していきます。このように「建学の精神」や「教育理念」をさらに明確にすることは、少子化が一段と進むこれから時代、他大学との差別化をかるために大切です。

しかしそれだけだと「大学はこれまであまり変わらないのではないか」と言われそうですね。いいえ、大きく変わります。2017年度には、全学教養教育機構CLAを設置。全学部の学生を対象とした、4年間の体系的な学びとして、21世紀型教養教育プログラムが始まります。この新しい教育プログラムを開拓するため、専用校舎も整備します（緑園2号館を改修の予定）。

「学生は明るく、妹ができたような気持で、フェリスは私の青春でした。宮坂・猫坂の桜がとてもきれいでした。」

第二の質問は「フェリスが在職中で一番嬉しかったことについて」でした。

辻フエリス・ホールが出来た時！永田「緑園体育館が出来たこと！」宮柿落としたのが、バーボールの試合を、私も観戦いたしました。永田「緑園体育館の柿落としては、国際審判をお招きし、実業団の強豪『日立佐和会』と全日本ナンバーワンの『東海大学』とのバーボールの試合を行いました。」宮坂「ゼミ生との出会いですね。」

大学開設50周年 トーケシヨー

充実した女性として家庭教育にも高い関心を持ち、人を育て欲しいですね。さらにキリスト教主義の大学として、常に教育の中心に据えて欲しいです。」永田今まで通りのびのびと可能性を伸ばす教育の継続。

フェリスに対する愛と誇りを持って、学生の育成。小規模大学という特性を生かした教育。そして、ぜひフェリスのために山手での大学再生をお願いしたい。宮坂「伝統を守る学生の育成。女子大の矜持を持ち続けて欲しい。言葉を大切にして、言葉による想像を働かせる力を持つ欲しい。」

永田先生のご発言から、私たち同窓生も後輩たちに恥ずかしくない「フェリスへの愛と誇り」を持ち続けているかと問われたよう、思わず居住いを正しました。

先生方のお話を伺いながら、母校の素晴らしさと、いつまでも先生方がフェリスを大切に思い続けてくださっていることを再認識し、今も変わらず学びの場であり、心のオアシスでもあることを実感しています。

（つづく）



（りてら 羽田明美 1979J）

● 大学開設50周年お祝贈呈
3月16日(月)大学開設50周年をお祝いして、りてら・F・グループ・りべるでより50万円を秋岡学長に贈呈いたしました。

● お問い合わせ・資料請求先
フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 045-662-4511
E-mail hsoumu@ferris.ac.jp

会員登録
寄付金のご入金とともに維持協力会へのご入会となります。
ご入会後、会員の皆さまには、記載した「入金明細」を送付させていただきます。また、フェリス女学院維持協力会たより『緑の丘の上』をお送りして、寄付金使用状況報告等を差し上げます。

寄付金総額が25万円に達した方は、終身会員としてご登録させていただきます。終身会員の皆さまには校歌CD、年2回フェリス女学院広報『ALL FERRIS』をお届けします。

● 寄付金控除
維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金となり、優遇措置が受けられます（必要書類は、学院から送付）。

※税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「振替払込請求書兼受領証」か「領収証」が必要となります。領収証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。

りべるて・Fグループ・りてら合同総会

2015年6月13日・カイパー記念講堂にて



木佳秀学院長、秋岡陽学長、荒井真副
学長、谷知子副学長、井上恵美子文学
部長、大西北呂志国際交流学部長、立
ご来賓として、奥田義孝理事長、鈴

きない日常と諦めて受け入れているこ
とに気づき、そうした日常を変えてみ
ようとする意志と決断を持つことの大
切さをお話しくださいました。

その後、音楽学部卒業生の北野有希
依さん(メゾソプラノ)による独唱「私
の心はあなたの声に花開く」(オペラ
(サムソンとデリラ)より)をお聴きし、
全員で校歌を歌い記念撮影をして、そ
れぞれの会場へ向かいました。
来年は6月11日(土)、山手で開催す
る予定です。皆さま、お誘い合わせの
上、ご出席くださいますようお願ひ申
し上げます。

第12回合同総会は、お天気に恵まれ
て山手カイパー講堂に約200名の出
席を得て開催されました。

中高新2号館が工事中であり、石段
途中の門(エンピツ門)を入っていただき
くというご不便をおかけしましたが、「
学生時代を思い出したわ」という声を
耳にし、ホットしました。

礼拝は、前学長宮坂覺名譽教授、奏
樂は小清水桃子さんにお願いいたしま
した。ヨハネによる福音書第5章1
節～9節を朗読され、「床を担いで歩き
なさい」と題して、お話をされました。

現代社会は、ネットで大量の情報が配
信され、個人にあつては、日々、いろ
いろなストレスを感じながら生活をし

ています。今の状況が動かすことので
きない日常と諦めて受け入れているこ
とに気づき、そうした日常を変えてみ
ようとする意志と決断を持つことの大
切さをお話しくださいました。

神糸子音楽学部長、円谷幸輝大学事務
部長、衛藤怜子白菊会会长をお招きし
ました。



第26回 リベラル総会

6月13日、カイパー記念講堂において合同総会を行い、統一家政科記念館にて谷知子副学長、円谷輝大学事務部長ご臨席のもと、りべるて総会を開催いたしました。

会長挨拶に続き、谷副学長より大学の現状と今後の展望を伺いました。また、円谷事務部長より、「りべるて奨学生」に対する感謝のお言葉と、学習環境を整備するため、四半世紀を迎える緑園校舎の改修の必要性と、改修事業に対する同窓生の協力をお願ひしたい旨のお話を伺いました。

続いて、議事に移りました。出席者・委任状合計により総会成立が報告され、2014年度の事業報告、決算報告、会計監査報告、2015年度の事業計画案・予算案が、それぞれ審議承認されました。その後、2015年度役員の紹介を行い、閉会しました。懇親会では、奥田義孝理事長と、今年度よりフエルリス女学院学院長に就任されました鈴木佳秀先生をお迎えしました。奥田理事長より鈴木先生のご紹介をいただき、新学院長よりは「創設者キダー女史とのご縁を通してフエルリスに導かされました」とのご挨拶をいただきました。出席の会員の皆さまは、学年を超えてやかに歓談され、楽しいひと時を過ごされました。どうぞ来年も、山手・家政科記念館へお出かけください。お待ちしております。



(報告 三藤裕子・D54)

Fグループ総会

6月13日(土)、フェリスホールにてFグループ総会が開催されました。開会の挨拶では、熊本会長よりFグループの名称由来の説明があり、皆様のご賛同により改めて『フェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループ』となりました。

御来賓の奥田義孝理事長、鈴木佳秀学院長、秋岡陽学長、立神粧子音楽学部長、辻宥子名誉教授により、様々なお心のこもったお話を頂戴いたしました。先生方が音楽科を今も昔も変わらず大切に考えてくださっていることを同窓生皆が感じたひとときであります。

議事では、14年度会計報告、会計監査報告、15年度予算案、14年度活動報告、15年度活動予定がそれぞれ承認されました。会長選挙について、会則の改訂についての説明もあり、その後、新規会員によるフルート、ピアノのフレッシュな演奏が披露されました。各支部からの御報告もいただき、大変盛り沢山な内容となりました。

総会終了後は、5号館を取り壊しに伴い、「5号館お別れツアーア」が行われ、懐かしい学び舎を見学して思い出に浸りました。本年度もコンサート、研修会、Fグループ会員の生徒さんの合同発表会を開催予定です。皆様の御参加を心よりお待ち申しあげております。



(報告 亀山知子・35回)

りべら同窓生のつどい

2014年度 学位授与式

6月13日(土)カイパー記念講堂での合同総会の後、8号館5階アートサロンにて『りべら同窓生のつどい』が開催されました。

同窓会では、今年、●文学部 319名、●国際交流学部 236名、●音楽学部 94名の卒業生をお迎えすることができました。

昨年初めて行い好評でした同窓会グッズ販売を、今年も3月20日の学位授与式と、4月1日の入学式で、大学側のご配慮によりコーナーを設けていただき、皆さまにご紹介しました。

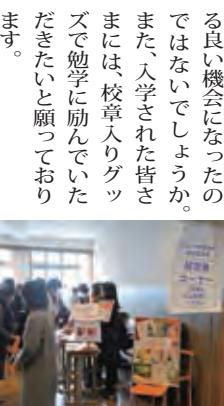


同窓会のグッズ販売

パンケースに加え、校章入り三笠山を販売しました。

学生、保護者の皆さまには、大学が書面でご案内くださいましたので、多くの方々にご来場いただきました。特に、保護者の皆さまには好評でした。

卒業生には、同窓会を身近に感じただけの良い機会になったのではないかでしょうか。また、入学された皆さんには、校章入りグッズで勉学に励んでいただけたいと願つております。



(報告 宇佐見瑞枝・1985J)

りべるて

Vol.27
家政科同窓会

りべるての皆様

会長 金子 和恵



学へとつながっているそうです。大学は、キリスト教・女子教育・for othersを軸にリベラルアーツを実践していくとのお話を伺いました。同窓会としてもどのようにご協力できるか、これから検討したいと思っております。

会員名簿の管理は同窓会の大切な仕事ですが、転居や地番の変更などで住所不明となりますと、会報やクリスマスカード、また、総会案内などをお届けできなくなりますので、その節は、りべるて事務局までお知らせください。また、ご友人のなかでお便りが届いていない方をご存知でしたら、ぜひ、ご一報ください。

さて、昨年度も5つの教室を開催いたしました。

今年も会報をお届けできることは、寄稿なら

りべるて会員の皆さん、いつもりべるての活動

にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

今年も会報をお届けできることは、寄稿なら

びに編集にご尽力くださいました皆さまのおかげ

と感謝申し上げております。昨年度も、各種行事

に多数の会員のみなさまにご参加いただき、あり

がとうございました。「久しぶりに山手にきました」

と伺うと、「活動を続けていて良かった」と役員一同

元気をいただき、気持ちを新たにしております。

2011年に創設してから5年目を迎えた「り

べるて奨学金」は、今年も秋岡学長に贈呈させて

いただきました。学生が希望をもつて勉学をつ

づけられるよう、少しでもお役に立てれば・・と

思っております。その折の学長のお話では、フェ

リスの高等教育は、実は100年以上続いている大

1947年に短期大学家政科を開設し、現在の大

力添えて家政科記念館を残していただいたことが、今活動へつながっていると感謝しております。

そして毎年同窓会のお手伝いをして下さる方をお願いしておりますが、昨年より2名の方にご参加いただいております。そして、今後の役員の負担を考慮して、今年度から、行事のない月の第一木曜日を休館することに致しました。皆さまにはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞ理解いただきたく存じます。

今回、りべるてで販売しているグッズのファイルを同封いたしました。懐かしいカイパー記念講堂のステンドグラスを中心にりべるてでデザインしたものです。お使いいただけましたら幸でございます。

これからも母校と同窓生をつなぐ役割を第一に活動して参りますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

お届けできなくなりますので、その節は、りべるて事務局までお知らせください。また、ご友人のなかでお便りが届いていない方をご存知でしたら、ぜひ、ご一報ください。

さて、昨年度も5つの教室を開催いたしました。

近年、はじめて参加される方々も増えていくこと

はとてもうれしいことです。お一人でいらしても、

やはり同窓生はすぐ仲良くなつて、「楽しかったの

でまた来ます」などと言つていただけますと「こ

れからも続けていかなければ・・・」と身の引き締

まる思いがします。他の同窓会会員の参加もあり

ますが、これも、現在の4つの同窓会が、それぞ

れの活動を尊重しながら良好な関係を築いている

ことのあらわれでもあると思います。

フェリス祭参加バザーは、献品が少なくなつて

参りましたが、役員が恵を絞り、リースや小物

を手作りし販売しています。喫茶コーナーでは、

毎年、寮にいらした方々が集まりにぎやかに過ご

されています。中島省吾先生はじめ諸先生方のお



奨学金贈呈

2015.6.18

奨学金実績

年度	予算	前期執行額	後期執行額	残高
2011	500,000	—	400,000	100,000
2012	500,000	200,000	200,000	100,000
2013	500,000	—	200,000	300,000
2014	500,000	300,000	300,000	-100,000
2015	500,000	100,000		400,000

2015年度役員

会計監査	総務	会書記	副会長	会長
浅見	三浦由里子	岩江真理子	石井克子	金子和恵
治美	吉子	鈴木初枝	池田昭子	村本とよ子
	裕子	田原典子	D D 44 61	小倉由紀子
	54 51	D D 45 43	D D 43 35	北村周子
D D 45 43	64 57 55	54 51	D D 45 51	遠藤木美子

ステンドグラス教室

北欧絵織物教室

お料理教室

ビーズ教室



1月28日大村先生(D41)のステンドグラス教室が開催されました。最近は、干支シリーズの作品が続いています。毎回、先生が雰囲気のある可愛らしいデザインを考えてくれます。

そして、色々な大きさ、色あいのガラスをカットして揃えてくださいますので、それらを型紙に合わせて並べハンダゴテでつないでいきます。初めての方も時間内に素敵な作品が出来あがり、それぞれ微妙に色合いの違う、個性的な作品の仕上がりに皆さん満足され大喜びでした。

りべるての方だけでなく、りてら・F グループの方も毎年楽しみに参加され、三回窓会の交流にもなっておりま



来年の作品は干支の申で

す。

どの様な作

品が出来上が

るのか楽しみにご参加くだ

さい。

樂しみにしていた矢吹恵子先生の北欧絵織物教室は、まだ寒い2月18日、家政科記念館の玄関の梅が一輪だけ聞いて春を待ち侘びるような日に行われました。

ワクワクしながら先生お手

作りの作品ギフトを開きました。

色取り取りの花がこぼれ落ちそうに咲き誇るブローチ

が今日の作品です。まずは小

さな正方形のボードに基礎

となる黒い糸を模盤の目のように掛け、黒糸の交差点に

艶のある刺繡糸で模様を作っています。華やかなナッ

ツの他にも、綿毛のついた変わった幅広のリボン、大小の

ビーズ、レース編みの葉っぱなどを、まるで春爛漫のお花

畠のように飾っています。各テーブルを回りながら披

露くださる矢吹先生のお手元はとても鮮やかで、ついた

息をついてしまいました

が、和やかな雰囲気の中

でゆっくりと自分の作品

を仕上げることができます。

出来上がってみると、糸

の選び方や配置によって、各々個性あふれる作品が出来上

がりました。

北欧絵織物(NORSK BILLEDVEVY)に魅了され、

若くして単身オスロへ留学された矢吹先生の漂としたご

様子にも惹きつけられ、その作品の一端に触れることがで

きました今回のお教室は、たいへん意義深いものでした。美味

しいサンドイッチとお紅茶を併んでのランチも楽しく、外

の寒さを忘れてしまった1日となりました。

お世話いただいたりべるての皆様に、心よりお礼申し上

げます。

りてら 森由美(1983J)

ました。

(堀美千代 D64)

だ寒い2月18日、家政科記念館の玄関の梅が一輪だけ聞

いて春を待ち侘びるような日に行われました。

ワクワクしながら先生お手

作りの作品ギフトを開きました。

色取り取りの花がこぼれ落ちそうに咲き誇るブローチ

が今日の作品です。まずは小

さな正方形のボードに基礎

となる黒い糸を模盤の目のように掛け、黒糸の交差点に

艶のある刺繡糸で模様を作っています。華やかなナッ

ツの他にも、綿毛のついた変わった幅広のリボン、大小の

ビーズ、レース編みの葉っぱなどを、まるで春爛漫のお花

畠のように飾っています。各テーブルを回りながら披

露くださる矢吹先生のお手元はとても鮮やかで、ついた

息をついてしまいました

が、和やかな雰囲気のなかで素敵なお献立を満喫するこ

とができました。

今回は、大森いく子先生(D52)に初夏にぴったりのメ

ヌーを教えていただきました。先輩方々さすがの手際の

良さで、あつという間に素敵な力フェ空間となり、ゆつたり

りました。

トマトを白だしのおつゆでいただ

く、「トマト素麺」は、色々な葉

味もたくさん添えられ、会話を弾む

くわやかで楽しい一品でした。「夏

野菜の大ざぶら」は、それぞれの材料にひと工夫の愛情を加え、

6種類をきれいに盛り付けた大人の華やかなお皿となりま

した。白だしを用いた和え物2種「トマトの甘酢和え」と「も

やしと茄子の和え物」はさっと気軽に作れててしまうほど

ても思えない一ランク上の味でした。そしてデザートに

6種類をきれいに盛り付けた大人の華やかなお皿となりま

した。白だしを用いた和え物2種「トマトの甘酢和え」と「も

やしと茄子の和え物」はさっと気軽に作れてしまうほど

ても思えない一ランク上の味でした。そしてデザートに

6種類をきれいに盛り付けた大人の華やかなお皿となりま

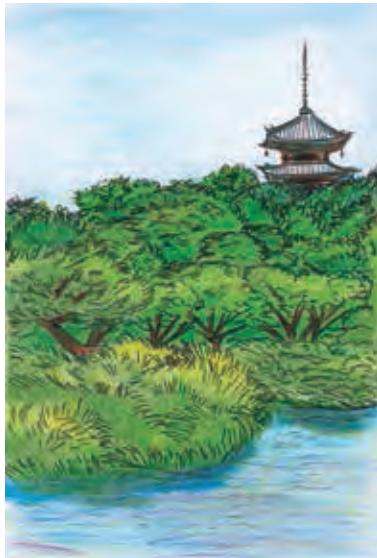
あの頃を訪ねて　～三溪園～

昭和30年代の卒業生は、三溪園には建築学の授業で訪れたそうです。代表的な建物の内部に実際に入り、建築様式や欄間の透かし彫のすばらしさに驚いたそうです。中でも一番印象に残ったのはトイレだったそうです。衛生陶器ならぬ塗り物の柱で蒔絵でできていました。床は畳敷きで、中は砂が盛つてあります。の様式なら、当時の着物でも大丈夫と思ったそうです。また、3階部分は思いのほか天井が低かったことも記憶に残っているそうです。茶道部のみなさんは、毎年、三溪園で横浜五大学茶道連盟に所属する横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学などの茶道部員とお茶会を催していましたそうです。そこで、三溪園を訪ねてみました。

三溪園は、明治末から大正時代に製糸、生糸貿易で財を成した横浜の実業家原三溪（本名富太郎）が、東京湾に面した“三の谷”と呼ばれる谷の土地を利用して造り上げた53,000坪の日本庭園です。外苑と内苑の2つの庭園からなり、京都や鎌倉などから集められた17棟の歴史的建造物、四季折々の自然が見事に調和した景観が見どころです。

正門を入ると左に大池、右に蓮池と睡蓮池があります。大池の前方遙か山の上には、室町時代に建築された京都旧燈明寺三重塔を望めます。三溪園のランドマークと言えるこの塔は、現在、関東地方では最古の木造の塔です。桜の頃や観月会ではライトアップされ、風情のある姿を楽しむことができます。

正面には大きな茅葺（かやぶき）屋根の鶴翔閣が山を背に、まるで全体の要のように見えています。明治35年、三溪が自宅として延床面積約290坪で建てたものです。三溪が美術品に深い造詣をもち、芸術家の育成にあたったことはよく知られています。そして、特に岡倉天心の要請で支援した横山大観、下山觀山、前田青邨ら「三溪園グループ」は有名です。庇護を受けた芸術家は三溪園を



訪ね、時には鶴翔閣に泊り、創作を行ったそうです。ここは、近代日本文化に大きな影響を与えた場所でもあります。さらに進むと御門があります。京都東山の西方寺にあった薬医門を解体して汽車で運んだそうです。この先には、大正9年に建てられた数寄屋風建築の白雲亭という三溪の隠居所があります。晩年、来客を迎える時は、三溪が御門で待っていたそうです。

一方、臨春閣は、紀州徳川家の夏の別荘として1649年に建てられた数寄屋風書院造りが移築され、お客様のおもてなしに使われました。東の桂離宮と呼ばれる、夏の別荘建築らしく風通しの良いように、部屋の境にある欄間にまことに蓮の葉を使った設えがあります。雁行型に三屋が連なり、特に第三屋は、「天樂の間」と言われ、欄間に雅楽に馴染み深い笛、笙などの本物の樂器があしらわれています。天井は貝殻を細かく潰して塗ることで、薄明かりに浮かび上がるような設えがあります。紀ノ川を見立てたようにお庭を流れ、小川は、外苑と内苑を循環していく。京都の鞍馬から運んできた薄いピンク色の庭石が、雨に濡れるとしつとりとした情感を醸し出します。9月に行われる観月会には、お庭で音楽・舞踏が楽しめるそうです。

秋のひと夜、三重塔に浮かぶ中秋の名月を眺め、雅楽とお酒を楽しんだ三溪たちに思いを馳せてみると、どこか優雅でロマンチックな時間の過ごし方かも知れませんね。ぜひ、名月を楽しみに訪ねてみては如何でしょうか？

前述の茶道部のお茶会は、この臨春閣と、織田信長の弟、有楽の作と言われる春草庵の茶室、そして三溪の思いの詰まった蓮華院の茶室で行われたそうです。三溪園は、四季の花々が絶えることなく鑑賞できます。特に、10月末からの菊花展と紅葉、2月には観梅会、そして春は桜が見事です。皆さまもぜひ一度、訪ねてみませんか。三溪園ホームページ(<http://www.sankeien.or.jp>)

りべるてバザーのご案内

11月2日(月)・3日(火祝)の両日、家政科記念館において、毎年恒例のバザーを行ないます。

フェリスグッズ、手作り品・寄贈品等を販売いたします。フェリスマーケ

入り文明堂三笠山は、毎年好評です。ティルームでは、美味しいケーキとお茶を用意してお待ちしております。是非お出かけくださいませ。



献品のお願い

バザー当日に販売します日用雑貨品や贈答品等がございましたら、ご寄付くださいます様お願いいたします。

●受付期間：11月1日まで
●受付場所：家政科記念館
〒231-18651 横浜市中区山手68

家政科同窓会りべるて宛

- ・本革ペンケース 各1,600円(赤、青、茶、紫)
- ・エプロン 各2,000円(黒、赤、茶、ピンク)
- ・エコバック 各500円(黒、赤)
- ・クリアファイル 200円(2枚組)

〈グッズ申し込み先〉
家政科同窓会りべるて

Tel・Fax 045(662)0750

大学生のための クリスマスリース教室

12月4日、大学学生課とともに、ひとり暮らし応援プログラムの一環として、クリスマス・リース教室を家政科記念館で開催しました。講師は、フラワー＆ティブルデコレーターの近藤由香里さん（D51）にお願いしました。

授業を終えた学生たちは、初めて山手の家政科記念館を訪れ、短大家政科が発展改組され、現在の国際交流学部が誕生した話を興味深く聞いてくださいました。



クリスマスリース作りが初めての学生たちは、花材を扱うのも恐る恐るでしたが、先生の説明を聞きながら、土台となるリースに、グリーンや木の実、ドライのオレンジやレモン、そして赤いバラのプリザーブドフラワーをポイントに使い、おしゃれな作品を作り上げました。同じ花材を使っていますが、それぞれが自分の感性を生かし、また工夫をしてオリジナルで素敵なりースになりました。

この場でお友だちとなつた学生たちは、お互いにリースの写真を撮ったり感想を述べ合ふなど楽しく過ごし、とても喜んでくださいました。



行事予定

～これからのお教室案内～

10月1日(木)

大森先生のお菓子教室

季節感あふれる、やさしいお味の
お菓子作りをお楽しみください。

11月2・3日(月・火祝)
りべるてバザー

2016年

1月27日(水)

大村先生の
ステンドグラス教室

干支シリーズのサルの製作になります。
どの様なサルになるのか樂しみです。

12月12日(土)

クリスマス礼拝

役員募集

りべるてのお手伝いをしていただけの方を募集いたします。

* 昼食は各自ご用意いただけます。

毎週木曜日に開館しておりました家政科記念館ですが、第1木曜日は閉館させていただきます。

お知らせ

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。
変更がありましたら、りべるて宛お知らせください。
*木曜日が活動日です。
*交通費(実費)を支給します。

TEL・FAX 045-662-0750

お願い

この場でお友だちとなつた学生たちは、お互いにリースの写真を撮ったり感想を述べ合ふなど楽しく過ごし、とても喜んでくださいました。

■2014年度決算報告書 (2014.4.1~2015.3.31)

科目		金額(円)
受取事業寄付のそ	利息費(グッズ販売、バザー)	891
408,907	0	0
小計		409,798
前年度繰越金		11,172,450
合計	11,582,248	
支出		
奨学金基金 交際費 寄付 事業の その他	500,000 166,800 79,009 155,955 134	
小計	901,898	
次年度繰越金		10,680,350
合計	11,582,248	
繰越金明細		
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行) 定期貯金(同上) 通常貯金(同上) 通常貯金(同上) 普通預金(横浜銀行) 定期預金(横浜銀行)	2,658,826 3,012,000 795,708 1,332,663 372,977 2,508,176	
合計	10,680,350	

■2014年度運営費報告書 (2014.4.1~2015.3.31)

科目		金額(円)
収入	基金運営費(学院より)	2,462,452
合計	2,462,452	
支出		
消耗品費 旅費・交通費 通信・運搬費 印刷・製本費 報酬・手数料 会議・会合費 諸会費 会外費 雑修業費 事務費 寄付	2,764 396,980 883,147 805,387 2,022 98,580 114,778 76,810 81,984 0 0 0	
合計	2,462,452	
収入-支出		0

■2015年度予算 2015年3月31日

科目		金額(円)
消耗品費 (事務用) (その他)	120,000 10,000 110,000	
旅費・交通費	410,000	
通信・運搬費 (郵便料金) (宅急便)	940,000 930,000 10,000	
印刷・製本費	800,000	
報酬・手数料	2,000	
会議・会合費	100,000	
諸会費	100,000	
涉外費	100,000	
雑費	90,000	
修繕費	0	
事業費	0	
寄付	0	
合計	2,662,000	

会長 金子和惠
会計 田井克子(算)
池田昭子(池)

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2015年5月14日

監査 郷佐美(郷)
浅見治美(浅)



Fグループだより

No.44

音楽学部同窓会
F グループ

Fグループの皆様

Fグループ会長 熊本美也子(17回)



夏を迎える会報をお届けする頃となりました。皆様にはお健やかにお過ごしのことと存じます。

大谷前会長より引き継いだ会長の役目も2期6年目となり、今年度で任期満了



2014年度の活動および近況報告

音楽学部長 立神 粧子

派な演奏を聴かせてくくれました。

卒業生が海外で頑張っている姿を見せてくれるのは大変に誇らしいものです。良き先輩として在校生に何よりの刺激となります。

この時のご寄付は、フェリスホールのオルガンの修繕費ほかに使わせていただきます。企画してくださった大橋氏を始め、皆様の御厚意に心より御礼申し上げます。

昨年11月のFグループ主催「音楽学部の卒業生コンサート」では、スイス在住の卒業生3名(井手、北村、栗田名氏)が一時帰国し、名倉名誉教授と井上講師の協力を得てピアノ・ソロと室内樂の立

となります。いつもFグループの活動にご理解とご協力をいただきまして心から感謝いたします。

この間、東日本大震災が起り、被災された在学生のためのチャリティー・コンサートを、大学3同窓会主催で開催したのをはじめ、音楽に厳しい時代の直中にある音楽学部を応援する募金コンサートを2回開催いたしました。

いずれも、学部先生方と内外の卒業生による多彩な演奏、コンサートにお運びくださった方々、募金をしてくださった方々の大変なご協力のお陰で大成功をされました。ありがとうございました。

これらを通じて、フェリスを心から愛

Fグループはこれからも母校と同窓生

この関連から2015年4月に秋岡学長と土屋教授とともに林横浜市長を訪ね、横浜市との今後の協力体制を確認しました。

フラウエンコーアは学外での演奏の機会が増え、BSジャパンの「日本名曲アルバム」への出演もレギュラー化しており、日本全国にファンも増えています。

音楽芸術学科1年生の企画が、難関であるサントリー・レインボウ21の学生企画展に選ばれました。6月9日にはサントリーホール・ブルーローズで「戦争と音楽」*闇から光へ*というタイトルのコンサートが行われました。戦争に関係のある作曲家によるピアノ曲、歌曲、室内樂

となりますが、いつもFグループの活動にご理解とご協力をいただきまして心から感謝いたします。

今年3月に、初めての試みとして開催された「山手の丘合同発表会」は、小さなお子様から大人の方までがフェリスホールに集い、可愛らしく、又華やかな演奏が繰り広げられました。

会場の皆さんのがパイプオルガンによるパッハの特別演奏に感動し、しびれておられることが手に取るようになり、フェリスホールのシンボルはこのパイプオルガンなのだ、との思いを新たにいたしました。

Fグループ寄付のお願い

毎年非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。一口1,000円からお願い申上げます。

<振込先>ゆうちょ銀行 00280-3-75184
Fグループ

(通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください)

をつなぐ役目に力を尽くします。
皆様の変わらぬご支援をよろしくお願ひいたします。

2014年度 音楽の贈り物

ジョイントコンサート
14年9月15日 フェリスホール

昨年のジョイントコンサートは9月15日にフェリスホールにて開催されました。200名近いお客様にご来場いただき、盛会のうちに終了しました。声楽、ヴァイオリン、合唱、ピアノのプログラムでお贈りしました。

若手の出演者の方が

多かったこと、19人編成の合唱もあり、非常に華やかでフェリスらしい舞台となりました。

また初めての試みとして、音楽芸術学科の新卒生3名による卒業作品をホールロビーで上映しました。こちらも



卒業後も音楽の道を歩んでおられる同窓生の演奏を聴きに足をお運びいただけたら幸いであります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

[14年度出演者]

音羽麻紀子(60回V)小松愛(60回Pf)森田綾乃(62回Vn)丸尾友貴(62回Pf)アンサンブルMora江祐子(53回Vo)尾藤万希子(51回Pf)山岸梓乃(50回Pf)【作品展示】秋山季恵(63回)石塚翔子(63回)近藤琴絵(63回)

担当 小清水桃子(55回)

19時から山手フェリスホールにて開催します。今年は9月18日(金)

日(土)フェリス

ホールにて、昨

年退官されまし

た岡島雅興名誉

教授の作品をい

るいろいろな形でお

届けいたします。

ぜひ、足をお運

びくださいませ。



担当 濱口めぐみ(43回)

2015年度Fグループコンサートのご案内

♪フェリスアーベント

7月10日(金)19:00開演
フェリスホール¥2,000

好評のうちに
終了しました

【出演】
西由起子先生(本学講師)名倉淑子先生(本学名誉教授)
立神粧子先生(本学教授)井上雅代先生(本学講師)
落合 敦先生(本学教授)Fグループアンサンブル

♪ジョイントコンサート

9月18日(金)19:00開演
フェリスホール¥1,000

【出演】
ヴァイオリン 菊地 理恵(63回)
ピアノソロ 桐藤友妃子(43回)今井田綾香(62回)
声楽 松村由美子(31回)松崎 美佳(53回)
オルガン 千葉麻利子(64回)

♪研修会

10月17日(土)15:00開演
フェリスホール¥2,000
フェリスゆかりの作品を集めて
～慈む心、普遍を求めて～

講師：岡島雅興先生(本学名誉教授)
第1部 ピアノ演奏：高須美紀子(41回)
第2部 合唱：フェリスフラウエンコーラ
指揮：土屋広次郎先生(本学教授)
ピアノ伴奏：漆間有紀(58回)

♪山手の丘合同発表会

2016年3月26日(土)
10:30～18:00(予定)
フェリスホール 入場無料
【出演】Fグループ会員とそのレッスン生
参加費10,000円 参加申込9月1日より

《お問い合わせ・お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日10時～17時)
Tel&Fax : 045-681-6740
f-group@ferris.ac.jp

研修会
14年10月17日 フェリスホール

昨年の秋、久保浩名譽教授による研修会が行われました。『ピアノ指導のポイント』ピアノデュオ(2台ピアノ)曲を中心に「デモンスト레이ター」として、田口(久保佐緒里さん(51回)、館野(池浦)もと子さん(51回)に出演していました。

モーツアルト2台ピアノのためのソナタK・448第1楽章をはじめ、ラフマニノフ、ラヴェルなどの部分演奏をもとに、指導と演奏のポイントについて、ユーモアたっぷりのお話がありました。

おふたりの息の合った演奏は、先生のお言葉によつて更に対話を生み、まるで生き物のように音が動きだし、音の静と動、ペダリング、溢れ出る音の数々、まるで色を重ね、塗りこんでいく油絵のようでした。学ぶことの楽しさを久しぶりに感じることができました。

平日にも関わらず多くの方がおいでください、終演後も先生とお会いするための長い列がとても印象的でした。

サートがしたい』

という想いにより実現したこのコンサートには、名倉淑子名譽教授、音楽学部長の立神粧子先生、エロの井上雅代先生、大橋多美子さん(20回)率いる中部支部のコートロフエリーチエにもご出演いただき、大変豪華なコン

サートとなりました。

多くのお客様がいらしてくださり、音楽学部へ621,000円の寄付もすることができます。

チエにもご出演いただき、大変豪華なコンサートとなりました。

多くのお客様がいらしてくださり、音楽学部へ621,000円の寄付もすることができます。

チエにもご出演いただき、大変豪華なコンサートとなりました。



音楽学部のための募金コンサート
14年11月22日 フェリスホール

第1回 山手の丘合同発表会
15年3月28日 フェリスホール

山手の丘に桜の咲く頃、第1回合同発表会が行われました。Fグループ会員(同窓生)の生徒さんが参加できる新しい企画の発表会は大変好評で、幼稚園生から大人まで50名以上の方々にご参加いただきました。

生徒さんの真剣な演奏はフェリスホールに清らかに美しく響き渡り、会場はご家族ご友人のお見守りで温かな雰囲気に包まれてとて

も和やかでした。

特別演奏者、小清水桃子さん(55回)の莊厳

で美しいパイプオルガ

ンの調べも会場を魅了

していました。

次回は来春3月26日(土)開催の予定です。

ご参加ご来聴を心より

ご期待しております。



担当 米田悦子(35回)

Fグループ2014年度決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)

〈収入の部〉

項目	(単位:円) 決算額
終身会費	4,010,000
総会会費	24,500
研修会会費	149,000
募金コンサート(ティータイム)	1,002,000
ジョイント会費	237,000
宛名シール	1,490
雑収入	49,563
クリスマスコンサート	58,748
グッズ販売	125,410
Fグループへの寄付	12,400
小計	5,670,111
前年度繰越金	1,779,506
収入の部合計	7,449,617

〈支出の部〉

項目	(単位:円) 決算額	
(1) 運営費	1,460,780	
会印通人交事備出交学年幹特予	議刷信件際務品張通委備費	1,958 53,599 129,177 717,300 35,428 20,690 29,100 14,320 323,500 45,680 0 90,028
(2) 活動費	2,331,742	
総研修会開募金コンサート関係費	關係費	370,715 133,178 380,681 586,150 108,178 128,000 551,040 73,800 0
(3) 諸会費	370,000	
同窓会連絡会維持費	70,000	
維持協力会費	300,000	
(4) 積立金	1,110,000	
名簿積立金	50,000	
積立金	900,000	
山手の丘再販用積立	160,000	
(5) 予備費	0	
(6) 寄付	621,319	
支出合計	5,893,841	
次年度繰越金	1,555,776	
支出の部合計	7,449,617	

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。
2015年2月26日
Fグループ 会計監査 柴田 美和子
佐々木 淑子

私の調律師としての仕事先は、主に楽器店で販売されたピアノのアフターサービスになります。ピアノの使用者は、お稽古を始めたばかりのお子様から指導者の方まで、年齢も使用状況も様々で、そのようなピアノを調律、調整している日々です。

ヤマハにはピアノ技術のレベルアップ研修制度があり、私は数年毎にこれらの研修を受けて参りました。現在は最終となるコンサートピアノコースの研修を終えています。

ピアノ調律技能士1級取得

私は音楽学部楽理学科を卒業後、ヤマハピアノテクニカルアカデミーでピアノの調律師になる為の訓練を受けました。訓練終了後は、ヤマハより紹介された横浜市内にある楽器店に就職し、現在も調律師として仕事をしています。

卒業生だより

川本 泉(43回)

from
once a student



274名います。
私は2013年に
ピアノ調律技能士1
級に合格いたしまし
た。この資格を得た
ことを励み、これ
からも頑張っていこ
うと思います。

昨年度の諸活動につい
て報告がありました。
今回は会場が、力
フェスティバルへ変更とな
り、アットホームな雰
囲気の中、開催するこ
とが出来ました。
ありがとうございました。



選挙管理委員会のお知らせ

2016年3月に任期満了となるFグル

ープ会長の選挙を行います。(任期は2016年4月から3年間)会則に基づき選挙によって選出されます。会長の仕事は、同窓会全員の代表として母校創立の精神を尊重しつつ、会員

相互の親睦と発展に尽力することにあります。
自薦他薦に関わらず、選挙管理委員会へご連絡くださいます様お願い申し上げます。

立候補提出期限 2016年1月7日
提出先 Fグループ選挙管理委員会
委員長 横山典子(25回)
委員 梶村純子(17回)
原田まゆみ(19回)
原田かおり(30回)

研修会、音楽学部のための募金コンサート等、
科試験を経て実技試験を行っています。
現在ピアノ調律技能士1級合格者は全国で

快晴の中、31名の幹事の皆様にお集まりい
ただき、14年度一般会計収支報告(仮)および
会計監査報告、15年度一般会計収支報告(仮)および
拳管理委員会の立ち上げが行われました。

ピアノ調律技能士」ができました。ピアノ調律
技能士は1級から3級まであり、年に1回学
科試験を行っています。

15年3月5日 6号館力フエテラス

音楽学部のための募金コンサートより
¥621,000を音楽学部へ寄付いたしました。

Fグループ催し際の際に設置の募金箱より
¥39,370を大学生支援基金へ寄付いたし
ました。ご協力ありがとうございました。

寄付のご報告

書記 桐藤友妃子(43回)
常任 成田紀子(28回)
白木奈奈子(52回)
柏之間玲子(46回)
事務局

新役員紹介

*大賞(中田喜直賞) 前田佳代さん(55回)
**三浦洋一賞(伴奏賞) 菅原奈津子さん(53回)

おめでとうございます

第14回旭川「雪の降る街を」音楽祭

中田喜直記念コンクール

2015年3月

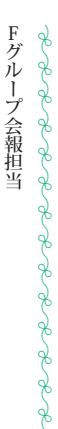
Fグループの
ホームページ
Facebook
随時更新中!



<http://f-group-hp.org/>

Fグループ会報担当
米田 悅子(35回)

白波瀬早百合(36回)



Email fgroup@ferris.ac.jp

電話

FAX

(045) 681-6740

りてら会員の皆さま

会長 小澤 美智子(1970)

国文学会の活動

文学部副手 角屋 瑞佳(2011)

ち合わせを行いました。2015年度に

は会報とはまた別に、

広報のためのリーフ

レットも学会員た

ちで作成致しました。

その他、講演会な

ど様々に活躍の場が

あります。



情報や写真・資料等をお寄せくださいます。
ようお願い申し上げます。

りてらの活動は、りてらの運営だけではなく、Fグループさん、りべるてさんと共に「大

学同窓会を組織運営しております。会報の

発行・合同総会の開催を中心としており、フェ

リスマス礼拝を守っております。

今年の総会(6月13日)は、大学開設50周年と

いう記念すべき年に相応しく、大学の多大な

ご協力により皆さまには特別プログラムを

お楽しみいただきました。宮坂覺

先生・辻宥子先生・永田道子先生各名誉教

授をゲストにお迎えし、谷副学長には進行役

をお願いしてのトーケンショード企画させて

いただきました。在任当時の山手キャンパス

の思い出やエピソード、今後のフェリスに望

むことなどとても楽しく、限られた時間では

ございましたが、先生方のフェリスに対する

熱い想いが伝わる素晴らしいひとときでございました。感謝申し上げます。

国際交流学会の活動

国際交流学部副手 湯田 紗子(2012)

キャンパスだより 第2回 学会の活動

りてら会員の皆さま、日頃よりてらの活動をお支えくださいましてありがとうございます。
今年度555名の新会員をお迎えし、総会員数は18,309名となりました。

本期最後の3年目となり、3年前掲げさせていただきました活動目標の3項目の1つ「りてらの軌道を残す作業」の充実を計りました。いとつております。

学院は今年145周年を迎えて、2020年の150周年に向け、新しいフェリスを目指し歩き始めております。

同時に大学は今年開設50周年という節目の150周年に向け、新しいフェリスを目指し歩き始めております。

さつた同窓会の資料も乏しい状況ですが、紐解いてみますとそこには本来あるべき同窓会の姿が見えてくるように思われます。同窓会は母校と同窓生を結ぶ架け橋となること、年代を超えた同窓生の親睦の場となること、そして何より母校の発展を願い支援させていただくこと、そのような会でありたいと願っております。軌道を残すことはその証となります。皆さまどうぞ同窓会にまつわる

LIS白菊雲さんを加えた中・高大同窓会の四同窓会での組織運営では、毎年12月にクリスマス礼拝を守っております。

今年度の総会(6月13日)は、大学開設50周年と

いう記念すべき年に相応しく、大学の多大なご協力により皆さまには特別プログラムを

お楽しみいただきました。宮坂覺

先生・辻宥子先生・永田道子先生各名譽教

授をゲストにお迎えし、谷副学長には進行役

をお願いしてのトーケンショード企画させて

いただきました。在任当時の山手キャンパス

の思い出やエピソード、今後のフェリスに望

むことなどとても楽しく、限られた時間では

ございましたが、先生方のフェリスに対する

熱い想いが伝わる素晴らしいひとときでございました。感謝申し上げます。

最後に、皆さまの住所管理は大学から委託を受け、同窓会で一括管理しております。大学からの情報はじめ、総会のお知らせ・会報・と合わせて、大西比呂志先生(横浜学のゼミや企

クリスマスカード等が皆さまのお手元に届きますように、転居の際にはホームページやFAXにて同窓会室まで変更届を出して貰います。又同窓会費未納の方は是非同窓会室までお問い合わせください。

選んだ横浜のお土産ベスト5を決定致しました。

また、初の試みとなる国際交流学会会報

が試食・審査を行い、フェリス生を見て・食べて・

読まれているのを見かけると、役員の努力の成果

が伺えます。今後も学生発信による企画を

応援していきたいです。

学会会報「Brilliant」

は国際交流学部共同

研究室にて配布してお

りますので、お立ち寄りの際にはぜひご覧く

ださい。



フエリスと横浜

國際交流學部長



二〇一〇年

*山手同窓会室開室のお知らせ

同窓会室より

色揃つたポケットファイナル、スマホに便利なタップペンの他にもいろいろとござります。是非一度H.Pをご覧ください。



ポケットファイル

ムの専門は文部省へ取扱い下さい。まことにせば今年度新しく学
同窓会の皆さまこんにちは部長となりました。どうぞよろしくお願ひいたし
ます。

私の専門は近政治学・政治史というものですから、大学では日本近現代史と横浜学を担当しています。ペリー来航に始まる日本の対外関係の中で、横浜が果たしてきた意義は改めて論じるまでもありません。そしてフェリスの150年になろうとする歴史はこの横浜と切つても切れない関係にあります。

右の「フェリス女学院大学賞」のオファーであったとき、私は市の担当者に一応「フェリスで良いのですか?」と尋ねました。横浜市内には20の国公私立の大学があるからです。すると「ぜひフェリスにお願いしたい」との答えでした。それはこの認定タッグのコンセプトが多くの人たちに喜んでもらう上で、フェリスのモットー「For Others」と一致致しました。そして何よりも横浜の女子大学生といえば「フェリスだから」でした。

ワ州とアーカンソー州の小さな町で資料を集めました。そこでは横浜のフェリスから来たということだけで大変な歓迎を受け、様々なサポートをしてもらいました。またアメリカ行く先々で、Yokohamaとそのミッションスクール

境や福祉、観光、ファッション、映画や音楽といった様々な分野に通じていて、フェリスが立地するこの「資源」を活かさない手はありません。

特に最近は横浜市の観光コンベンションビュローや文化観光局、元町SS会、JT-B、神奈川タクシー協会などに声をかけていただき、ゼミや学生団体と一緒に女子学生の自線から横濱を活性化しようという地域連携の活動を行っています。昨年横浜の認定お土産グッズ「横濱001」のスリーブ部門に「フェリス女学院大学賞」が創設され

りてら 2014年度決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)

● 収入の部(四)

科 目	決 算
終身会費	4,440,000
預金利息	15,512
雜 収 入	15,000
取 入 小 計	4,470,512
前年度繰越金	56,113,815
取 入 合 計	60,584,327

●支出の部(円)

科 目	決 算
総会関連費	972,659
会報関連費	2,710,911
クリスマスカード費	898,298
企画費	46,820
会議費	158,557
卒業・入学関連費	666,240
大学祭費	9,426
寄付	1,000,000
就職課支援金	300,000
交際費	47,160
人件費	70,000
通信費	997,130
交通費	215,220
通信費	237,656
パソコン関連費	59,881
ホームページ関連費	142,357
リース費	69,300
印刷費	29,862
事務消耗品費	63,154
手数料	3,698
備品費	68,761
雜備費	10,545
予備費	166,800
支出合計	8,944,435
次年度繰越金	51,639,892
合計	60,584,327



*りてらオリジナルグッズ
ご好評をいただきており
ナルグッズに新商品が登場

よすりてらオリジ
いたしました。三

で緑園キャン。
スまでお越し、
ださい。

八

1



タッチペン(10.5cm)

専業主婦からプロの道へ

齊藤 美穂(1969E)



同窓生だより

食べることが大好きな両親のお陰で、味覚の鋭い子供の頃から美味しいものを口にする機会に恵まれた環境でした。父は外出時に出会うと必ずその店に母を誘い、食卓には母の記憶した味が並ぶという具合でしたから料理や菓子に興味を持つのは、両親の影響だったのかかもしれません。結婚した夫の赴任先はパリ、フランス料理を学びましたが、次の赴任先のメキシコで私の人生にとて大きな運命の扉が開きました。1989年の8月念願かなつてジョエル・ロブション氏オーナーのパリ三ツ星レストランの厨房でスタート出来ることになつたのです。スタートとは短期間の研修のことですが、その店の厨房で技術を勉強する事が出来る仕組です。私は料理人ではありませんが、これを皮切りにパリ五ツ星ホテル、ミラノ、バルセロナの三ツ星レストラン、ショコラタワー、パティスリーなど各地の様々な、ほぼ20ヶ所の店でスタートをしたのです。スタートは惠まれました。ここ迄読まれかとも知れませんが全くそうではなく純粹な私たちはレストラン開業目的?と思われた

ところです。私が楽しみにしていましたが、両親の影響で必ず母を連れて出かける事になりました。母の記憶した味が並ぶという具合で、必ず母と一緒に出かける事になりました。

そこで、母の記憶した味が並ぶという具合で、必ず母と一緒に出かける事になりました。母の記憶した味が並ぶという具合で、必ず母と一緒に出かける事になりました。

小さな旅くらぶ

2014年度ご報告

9月27日(土)、

はとバス観光

「帝国ホテルと

東京湾クルーズ

コース」に参加

いたしました。

晴天に恵まれ、

快適なバスツ

アートのスタート

です。私が楽しみにしていましたが、

のランチバイキングは、前菜、メイン、デザート全てが品数豊富で、皆様との会話を満喫しつつお料理調達にせつせと足を運び、その美味しさを堪能いたしました。

バス車中では、銀座、浅草、スカイツリーを巡り、ガイドさんの説明を聞き

ながらの楽しいひととき。そして、東京タワー展望台上に上つて、大都会を見下ろし、記念品購入。

東京湾クルーズでは、ゆつたりと優雅

なティータイム。デッキでは気分爽快で

した。ワンランク上の小さな旅をありがとうございました。

寺田 孝子(1977J)

2015年度お知らせ

今年は、9月15日(火)に、江戸東京博

物館を中心としたコースを計画中です。

詳細につきましては、同窓会室にお問い合わせください。秋の一日をご一緒に楽し

みましょう!

クリスマス礼拝と りてら茶話会のお誘い

6月13日(土)、りてら同窓生のつどいにて、大学開設50周年祝金の贈呈が行われました。大学の備品購入に役立てていただきました。小澤会長

が贈られました。大学へ金百万円が贈られました。小澤会長

が贈られました。小澤会長



大学開設50周年祝金 贈呈

りてらアーカイブ 10

今回は、文学部国文学科（当時）で教鞭をとられた堀切実先生です
ご退職後の精力的なご活躍や、読書のお勧めもいただきました

「すぐれた卒業論文との出会い」

堀切 実



『新芭蕉俳句大全』(明治書院)刊行(昨年10月)
打ち上げの会の堀切先生(左から二番目)

フェリスでの七年間を振り返って、今、一番記憶に残ることは、ゼミでの学習の充実感、そして高いレベルの卒業論文とたくさん出会ったことです。手元にある『玉藻』の二、三冊を眺めても、久野孝子さんの「蕉風連句における人物像」、香取庸子さんの「香

川景樹論」、鈴木郁子さんの「大隈言道の歌論」、佐竹秀子さんの「甘泉堂・和泉屋市兵衛について」など、学会のレベルに十分達したものでした。

香取さんの論文は近世文学辞典などにとり上げられましたし、佐竹さんの論文は「文学・語学」の「学界時評」で異例のことですが、「二十行にもわたって紹介され、「これが

成十六に刊行された『日本文学研究大成・芭蕉』(雲英末雄他編、国書刊行会)に、昭和五十年以降三十年間に発表された芭蕉に関する代表的論文二十五篇の一つとして、第一線の研究者と肩を並べて掲載されています。

卷末の執筆者紹介では唯一ひとり肩書きがないのです。このほかにも、「役者論語」について『玉藻』に書いた田口章子さんは、近世演劇の研究者として多数の著書を世に送り、京都造型芸術大学の教授としてずっと活躍しています。

フェリス在職時代「海外旅行は?」と問われると、「伊豆の大島」と答えていたわたしでしたが、平成六年秋、メリーランド大学で開催された「芭蕉生誕三百五十年記念、アメリカ東アジア学会大会」で基調講演をして

から、一転して海外好きになりました。親交のあったハロオ・シラネ教授のいるコロンビア大学や教え子の俳人マブソン青眼君の母校のパリ第七大学には何度も出かけました。講演はほとんど同時通訳で行われました。仕事以外でもヨーロッパ諸国には観光旅行を重ねるようになりました。つい昨年も

チエコやハンガリーの旅を楽しんできました

ところです。そうした国際的また学際的な視野の広がりもあって、糸川先生が役員をさ

れていた東方学会の国際会議に参加させてもらつたことがありますし、やはりかつて同僚であった日本語学の小池清治先生と雑誌

『江戸文学』の特集「江戸の文体」を共編した

こともありました。

今から十一年前、早稲田大学を定年退職

したときは、リーガロイヤルホテルで、わた

しの生き方に全くふさわしくない盛大な古稀祝賀会を開いてもらい、フェリスの卒業

生にも大勢参加してもらいました。定年後は気楽な毎日をと思っていたのですが、「生涯現役」をモットーとされた学界の大先輩に激励を受け(これも)一転して「芭蕉から近現代俳句へ」という研究テーマに精進する

ことになりました。緑園台でのカルチャーラ

イニシアチブ

た論文集を中心に、ほぼ一年一冊のベースで

本も出版してきました。同窓会の皆さんに手に取っていただきやすいものとしては、岩波文庫『芭蕉俳文集』『鶴衣』、角川ソフィア文庫『日本永代蔵』がありますし、昨年は

全く異なる分野ですが『金子みすゞ再発見

—新しい詩人像を求めて』(勉誠出版)と題

する本を地元下関在住のみすゞ研究家と共に著で出しました。

けれども、じつは昨年傘寿を迎えてからは、味覚障害など体調は急速に悪くなってしましました。生来神経質なので、電車の中で居眠りすることなど考えられなかつたのが、そ

うではなくなりました。

歩くことだけは日

課にしていますが、距離や速度が変わりまし

た。学生時代から六十年間続けてきた屋外

のラグビー観戦は、かなり回数が減りました。

ただ、屋内での催しには積極的に出かけてい

ます。わたしと同じ東京の下町生まれのご当

地ソングの女王水森かおりのコンサートや、

ファンクラブにも入っている中島みゆきの

「夜会」などが楽しみになっています。

りてら同窓会室

開室 每週火曜日・木曜日 10時～16時
(大学の春・夏・冬期休暇中は閉室)

住所 横浜市泉区緑園4-5-3
フェリス女学院大学内

電話 045-812-8692
FAX 045-814-8966
URL http://littera.gr.jp
E-mail info@littera.gr.jp

同窓会支部だより

東京支部

昨年の東京支部の活動をご紹介します。10月2日に浜松町東京會館で開かれた総会には中高事務室長、川本淑子氏をお迎えし、新しい姿に変わりつつある山手校舎、昨夏完成した中高新区体育館の説明等を伺いました。教育の現場は私達が過ごした古き良き時代から機能的なハイテクの時代へと大きく変化していることを痛感しました。議事の後は高層からの見事な眺望の中での和やかな昼食。

午後は、スペインのチェリスト、ハイエル・ロメロ氏、ロンドンのピアニスト、三浦永美子氏をお迎えしてのデュオコンサートでした。若々しいお2人の奏てる濃厚なチェロの響きと流麗なピアノの音色に酔いしれたひとときでした。解り易い説明も間に入れて下さり、アンコールには何と私達の校歌を！本当に感動的な演奏会でした。

11月12日、読書会では宮坂先生が米ホーブカメラジ訪問のお話を、1月21日の初春歌舞伎観劇（国立劇場）3月31日のお花見 大人の遠足と名付けての散策など、同窓会の垣根を越えて楽しく集まっていますので、お気軽にご参加ください。

今年の総会は10月8日（木）に、国際交流学部教授、矢野久美子先生をお迎えして開催します。皆様のご出席をお待ちしております。



支部長 多賀 礼子

関西支部

関西支部 同窓会総会は、オールフェリスで毎年11月の第2水曜日に、京都、大阪、神戸と巡りながら開催しています。

日本画家、竹内栖鳳の邸跡で、古都の風情と会食を楽しみました。

関西支部も年々会員数が増え、総会案内費がかさんできました。幹事さんのご苦労も多くなりました。90年近く続けていた関西支部を存続していくためにもシンプルな運営を模索中です。方向としては、個人宛の総会案内はがきは希望者のみとして、他の方々には、この同窓会会報の支部だよりやホームページで総会案内をご確認いただく、ということになるかと思います。

どうぞよろしくご協力お願いします。

今年度、幹事さんが交代し、加納さん、高安さん、葛谷さんがお世話くださいます。今秋の会場もガラリと趣が変わり、大阪駅を眺めながらのタイ料理です。たくさんの方々とお会いできることを楽しみにしております。

ちなみに、今年度の関西支部総会の案内を付記しておきます。

支部長 磯野 和美
関西支部 同窓会総会のご案内
日時 11月11日(水) 11時30分
場所 KOH SAMUI BY CHEDILUANG
(コサムイバイチャディルアン)
J.R大阪駅桜橋口より徒歩2分

申し込み先 tshimizu@kyoto.zagne.jp

西南支部

5月30日 副学長 國際交流学部教授

荒井真先生をお迎えし西南支部同窓会総会を開催いたしました。会場はお天気が良いれば見晴らしの良い福岡市の大濠公園のレストランですが、雨模様となりました。それでも会場内は和やかなひと時となりました。

荒井先生には礼拝、ご講演をお願いいたしました。礼拝のお話は「アンチエイジングをどう思いますか？」見せかけのアンチエイジングではなく年を重ねることの意味をヨエル書3章1節の聖句とともにお話し頂きました。大学のこれからに向けてのお話は遠く九州より、また卒業から相当の年月を経ていますから、皆さんどのようにイメージなさったでしょうか。

ご講演は「なぜアメリカは訴訟社会なのか？」アメリカと日本を比較しながらかりやすくご講演して頂きました。残念ながら国際交流学部の同窓生の出席者はありませんでしたが、多くの同窓生はとても真剣に拝聴いたしました。

同窓会には毎回出席してくださる方、その中には、山口、鹿児島、熊本と遠方からも、また、今回初めての方もいらっしゃいました。時の流れとともに私たちを取り巻く状況も変わってまいります。皆様の心穏やかな日々を願いつつ、次回も1人でも多くの方にお集まり頂けますようお待ちしております。



支部長 菊竹 美枝

フェリス白菊会より

主のみ名を賛美します。

厳しい社会情勢の中、創立150年に向けて歩みを進める母校にとつて、学院応援団としての同窓会の働きはとても大きなものになつてきています。中高2期工事は大詰めをむかえ、昨夏、新体育館完成、この6月には新2号館の完成引き渡しを受け、残るは1号館改修と中庭の整備となっています。おかげさまで、フェリス白菊会の新同窓会室は2号館の中に用意されました。9月のお披露目にもむけ、内部の設備の整備にかかりっています。工事期間中はご迷惑をおかけしましたが、皆さまのご協力によつて、同窓会行事、サークル活動を無事に続けることができました。ありがとうございました。秋からは新しい同窓会室を使って活動出来ることがあります。今まで通りの行事を予定しております。ぜひ皆さまもお出かけください。

工事期間中の長い間のご協力に感謝します。これからも変わらぬお交わりを願いつつ、学院の中での同窓会としての働きが全う出来るようにお互いの連携を強めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いします。

フェリス白菊会 会長 衛藤 怜子

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Yoshiko Amemiya(1969J041)
923 Casanueva Place, Stanford, CA. 94305, USA
TEL. 650-857-9334 FAX. 650-857-9334
E-MAIL ayoshiko@hotmail.com

2014年度フェリス女学院
中高・大学同窓会 会計報告

(2014年4月1日～2015年3月31日) (単位円)

前年度総収入(2014年4月1日)		1,174,506
収入	同窓会連絡会 維持費 白菊会、りてら、りべる、Fグループ 各@¥70,000×4	280,000
	利息 2014年8月16日	96
	利息 2015年2月21日	114
	小 計	280,210
	収入合計	1,454,716

支部総会お祝い金 西南支部、東京、関西支部 各@¥20,000×3		60,000
支出	送料	1,054
	雑費(お祝い金封)	42
	クリスマス礼拝経費(含 振込手数料)	79,235
	大塩前学院長お礼	13,935
	支出合計	154,266
	次年度総預金	¥1,300,450

以上の通りご報告いたします。

2015年4月1日 りべるて会計 小倉由紀子

卒業生をこんなに多く輩出している大学なのだと、心強く思います。卒業生のみなさまのご活躍は、受験生のみならず保護者や高等学校まで広く影響のある貴重な大学の活力です。今後もフェリス女学院大学への強力なご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(入試課)

クリスマス礼拝のご案内

《日 時》

2015年12月12日(土)

午前11:00から

《場 所》

カイパー記念講堂

《説教者》

学院長 鈴木 佳秀先生



クリスマス礼拝(2014年)献金先

献 金 総 額

254,424円プラス5¢

- 日本ユニセフ協会 63,606円
- 日本キリスト教海外医療協力会 63,606円
- 難民を助ける会 63,606円
- 社会福祉法人日本医療伝道会 63,606円

学生を支援する事務部の仕事について紹介いたします。今回も大学の入口と出口を担当する部署として、入試課と就職課に伺いました。“入試課”というと、“入学試験の実施を担当している部門”というイメージがあることと思います。しかし、近年は、大学の“営業部門”として受験生や保護者、高等学校を対象とした『入学案内』の発行、オープンキャンパスの開催学外で行われる進学相談会への参加などの入試広報活動に大きななウエイトを置いています。

オープンキャンパスは、7月、8月を中心年間5回行っています。先生方による学部・学科の紹介や授業体験、在学生によるキャンパスツアー、個別相談など、多彩なプログラムを通して受験生により深くフェリスを知つてもらう機会としています。また、全国各地で行われる進学相談会には入試課スタッフが出席し、横浜のキャンパスまで足を運ぶことのできない受験生や高等学校の先生方に直接お会いし、進学相談に応じています。

進学相談会等で各地で訪れる際に、思がけずフェリスの卒業生のみなさまにお会いすることができます。小さな大学であるにもかかわらず、多くの卒業生が全国各地で活躍されていることに驚くとともに、フェリスは社会に広く貢献する影響のある貴重な大学の活力です。今後もフェリス女学院大学への強力なご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

大学事務部より

国との要請により、2016年3月卒業・修了予定者から、就職活動の時期が大きく変わりました。これまでよりも企業の広報活動が3ヶ月採用選考活動が4ヶ月ほど後ろ倒しになり、今年度は採用側の企業も就職指導を行う大学も試行錯誤する年となりました。

もちろん変更により対応策を考えなければならぬ面も多々ありますが、個人の働き方や生き方を考える上で「キャリア教育」という面においては、本質的には大きく変わりはないと考えています。そのため、内定を得るための小手先のスキル向上ではなく、「キャリア形成支援」をより一層厚くしていきます。近年は低学年向けの体験型キャリア教育をこれまで以上に充実させています。

例えば、昨年度は学生自身が新聞記事を作成する「新聞記者体験講座」を行いました。この講座では学生たちが模擬の記者会見や事件の取材そして記事作成に取り組みます。模擬とはいえ内容は実践的であり、模擬取材では講師の方が様々な役割を演じリアルな取材現場を再現しました。また、企業の方による本物のプレスリリースを元にした記者会見を行い、記事は新聞社の方に指導して頂きました。

このような体験により、学生は社会で必要となる力を学び、本学での学習や活動が社会でどのように役立つかを知る契機となります。その時々の就職環境にいたずらに流されるのではなく、キャリア教育の「本質的な部分」を大切にしながら、学生をサポートしております。(就職課)

思い出の学び舎

フェリス女学院4号館と5号館は老朽化のため、今年で歴史の幕を閉じることになりました。

4号館は昭和27年に音楽科校舎として落成しました。当初から木造2階建ての全8室にはピアノが置かれていました。18年余は短大音楽科として、その後は練習室、山手音楽教室（フェリス音楽教室）として、永年愛され使われてきた学び舎でした。



5号館は昭和45年創立100

周年に落成しました。鉄筋コンクリート4階建

て冷暖房完備、4階には200名入るホールがあり設備



永眠者(お届けのあつた方)

成瀬 武史先生	2 0 1 4
木村 圭三先生	2 0 1 4
手塚 敏子先生	3 •
米山 文明先生	2 0 1 5 • 3 •

2 0 1 4
12 •
12 •
13

●トーマ
開催日時：10月31日(日)、11月1日(月)
(両日とも11時～17時)
開催場所：緑園キャンバス

大祭典 FERRIS FESTIVAL 2015

●トーマ

“Whole Heart”～真心～めで～

資料室からのお願ひ

●フェリス女学院150年史資料集◆第3集◆「RCA伝道局報告書にみるフェリス」が発行されました。この希望の方は資料

室までご連絡ください。
●短期大学・大学の歴史や学生生活に関する資料を収集しています。どんなものでも結構です。是非ご寄贈ください。

●フェリス女学院資料室
電話：045-662-4411
mail : shiryo@ferris.ac.jp

編集後記

今年も無事会報をお届け出来ますことを感謝いたします。

目まぐるしく変わつて行く昨今ですが、学生時代をふり返り、なつかしんで読んでいただけましたら、嬉しく思います。

皆さまのご意見をお寄せください。

フェリス女学院大学回観会報

2015年8月発行

担当：家政科同窓会りべるて

りべるて
Fグループ
045(662)0750
りべるて
045(662)0750
Fグループ
045(681)8692
りべるて
045(681)8692

天来の慰めをお祈りいたします。

伊豫田七夕子姉(1940E)	2	0	0	5	•	10	•
富田千恵子姉(1941E)	2	0	1	4	7	•	19
井上 澄子姉(1941E)	2	0	1	4	9	•	
森本加加子姉(1941E)	2	0	1	4	10	•	
河原千代子姉(1943E)	2	0	1	4	7	•	
柏山キミ江姉(1943E)	2	0	1	5	•	1	•
石神 妙子姉(1943E)	2	0	1	5	•	1	•
渡辺 裕子姉(1944E)	2	0	1	5	•	1	•
小方 典子姉(1944E)	2	0	1	5	•	3	•
中野 紘子姉(1946E)	2	0	1	5	•	6	•
	17	16	13	27	14	7	3